

## 年次総会 新たな出発 参院選・都議選必勝を!!

民社協会の年次総会が2月25日、東京の全国町村会館で開かれ、各地方協会、労組代表、役員など合わせて130名が出席し、新年度の方針を決めた。



冒頭、物故者への黙祷の後、豊嶋輝慶(神奈川県)、高田巖(兵庫県)の両議長を選出した。

米沢会長挨拶(別掲)

に続いて、来賓として出席した友愛連絡会の吉井眞之筆頭代表幹事が「あり方懇談会の一定の方向性に対し、われわれがいかに支援しうるか今後議論していきたい。今年の参院選、都議選では、お互いに連携を密に従来以上の取り組みをして、この目標を達成したい」と挨拶、続いて政研フォーラムの堀江湛理事長が「国会議員を始め民社協会の政治的使命は未だ終わらない。夏の参院選、都議選の結果如何によっては、新たな政界再編のきっかけになる可能性もある。健闘を期待したい」と挨拶を行った。

活動報告など諸報告の後、活動方針案、参院選・都議選対策案、予算案、規約改正案、新役員案などの議案が本部より提案された。活動方針案については、昨年から7回にわたる「あり方懇談会」の議論が今後の協会の方向の基本となることから、あり方懇談会の中田一郎座長から過去の議論の経過をふまえたあり方懇談会の最終報告がなされた。会場から「本部は引き続き地方への指導力を発揮してほしい。特に会合・集会などへの国会議員の派遣をお願いしたい」(群馬・下田文夫代議員)と求めたのに対し、中野副理事長が「できうるかぎり調整をして伺いたい」と答弁した。また参院選対策について「参院選勝利のために、本部機能は強化してほしい」(兵庫・三河谷進代議員)と要望した。これに対し「財政面を考慮に入れながら、なるべく

### 米沢隆会長挨拶要旨

厳しい状況の中で民社協会をどのように存続するのかがこの二、三年の大きな課題であった。昨年の年次総会で、協会のあり方を議論していただくこと、「あり方懇談会」の設置を決めた。このたびその最終報告が出された。これを受けて今回の活動方針案となっている。新しいこの情勢の中で、いかに民社協会を守り、発展させていくかということが、われわれがこれから議論していかなければならない大変大事な問題だということをご理解いただきたい。

政局の流動化は必至だ。民社の魂を持ったわれわれが、その中でどう動けるのかということも問われている。みなさんの真摯なご議論をいただきたい。

またこの総会が、世紀の決戦である参議院選挙、また6月の東京都議選を勝ち抜いて、民社協会の前進につながるという意気を込めた総会になることを願っている。

本部機能を低下させないよう工夫したい」(佐分利理事)と答弁した。

これら質疑・答弁をふまえ、諸報告ならびに議案は提案通り採択された。

また「参議院議員選挙ならびに東京都議会議員選挙必勝決議案」が武藤政春代議員(埼玉)より上程され、満場の拍手をもって採択された。さらに参院選、都議選候補予定者が紹介され、参院選の山根隆治候補(参院埼玉県選挙区)、今泉昭候補(同千葉県選挙区)、都議選の名取憲彦候補(東京都大田区)が、それぞれ必勝に向けた決意表明を行った。

続いて規約改正案、新役員案が提案され、米沢隆会長、中田一郎理事長を始めとする新役員が選出された。新たな民社協会の出発と参院選、都議選の必勝を期し、新役員を代表して中田新理事長が音頭をとり、ガンパロウ三唱で氣勢を上げ、総会を締めくくった。

### 平成13年度 活動方針

平成13年度の活動方針は、「あり方懇談会」が設置されたことを受けて、全組織をあげて民社協会のあり方について議論を展開してきたことから、その議論の結果を集約した「あり方懇談会・最終報告」に基本的に沿ったものとして、本部案とする。

(会員確保と全国ネットワークの維持)

1. 民社協会が今後とも影響力のある政治集団として存続していくため、全国の都道府県協会、会員、地方議員、国会議員というネットワークの維持・強化に全力を上げる。
2. 会員数の減少傾向に歯止めをかけるため、各地方協会は目標を立て会員の維持拡大につとめる。

(ブロック会議の強化と地方協会との提携強化)

1. 民社協会の具体的活動の基盤は地方協会にあることからして、地方協会との提携・連絡を一層密にする。
2. 衆議院比例ブロック別のブロック会議をできるだけ定期的開催し、中央と地方をつなぐパイプとして位置づけ、一層強化していく。  
(友愛連絡会等との連携強化)
1. 民社協会にとっては友愛連絡会所属の産別の組織的支援が協会存続の基盤である。したがって、友愛連絡会ならびに所属の産別との提携強化に中央・地方を通じてつとめ、各級選挙対策はもとよりのこと、勤労者の生活向上、政治の改革をめざす。
2. 「日本民主婦人の会」「民社ゆーす2001」「政策研究フォーラム」「核禁会議」「論憲会議」「民社法曹懇談会」「民社人権